

第8回全日本少年大会神戸市大会

千歳、古豪を破って優勝

第8回全日本少年大会の神戸市大会は、5月13日より御崎少年サッカー場、北五葉小、桜の宮小グラウンドで行われ、優勝候補の筆頭千歳が古豪成徳を破り3年連続3度目の優勝を果たした。

組み合わせでは優勝候補同士の千歳と多井畑が同じブロックに入り、準々決勝で顔を会わせることになったが、1-0で辛くも千歳が勝ち進んだ。

優勝した千歳は近年永浜監督の好指導の結果戦術眼に優れ、個人技能も高いものを持っていた。きびしいプレッシャーの中での状況判断の良さ、ボールを持っていない選手の動きの良さが目についた。また、準優勝の成徳は抽選にめぐまれたこともあったが、能力の高いFW、MFを中心に激しい闘志で勝利を勝ちとった。準々決勝で千歳に敗れた多井畑はBKを中心に組織プレーのしっかりできている好チームだったが、対千歳戦では数多くチャンスを作りながらアンラッキーな面も

重なり、千歳を破ることができなかった。県大会に出場しても他地域の代表チームと十分互角以上に戦えるチームであった。

このほか、昨年、本年と春先に調子の出ない神戸FCも市少年リーグではぜひ優勝をねらっていたチームだった。また、4位と活躍した虹つ子(灘生協少年チーム)も新勢力として来年も頑張ってもらいたいチームであった。

決勝(5月27日、御崎少年サッカー場)

千歳A 3 { 3-0 } 0 成徳A

3位決定戦(同)

神戸FC 5 { 2-0 } 0 虹つ子
ボーイズA 5 { 3-0 } 0



3度目の県大会出場を果たした千歳のイレブン

第8回全日本サッカー大会神戸市大会結果

多井畑	4	0	八幡	0	多
ひより台	4	0	鶴成	0	越
北五葉	2	0	桜の	0	徳
神陵	2	0	雲	0	宮
木津	1	0	北須	0	中
つつじが丘	1	0	有瀬	0	磨
千歳	3	0	福	0	瀬
蓮池	1	0	渦	0	住
神戸FC	3	0	夢	0	森
みさき	3	0	若	0	野
泉台	0	0	YMCA	0	草
和倉	0	0	虹つ子	0	
高台	0	0	有野	0	
新台	0	0	東灘	0	
鈴蘭	0	0	塩屋	0	
箕谷	0	0	東舞子	0	

59年度国民体育大会少年の部兵庫県代表候補選手

【監督】森田哲哉(御影高) 【コーチ】山根由雄(北須磨) 狩野一彦(小野) 【選手】G K 戒原信也(伊丹北3) 橋本尚(北須磨2) 藤本光信(赤塚山1) DF 伊藤寿活(関学3) 西本芳樹(小野3) 藤原(伊丹西3) 板井和博(伊丹北3) 古井裕之(福崎3) 明珍裕三(赤塚山3) 伊藤裕(明石北2) 喜来幸久(赤塚山2) MF 寺西昭人(伊丹北3) 小丸俊幸(三原3) 米原康司(御影3) 菰口正志(伊丹西3) 山中英勇(御影1) 竹内正信(甲北3) FW 植野孝(小野3) 西中充治(三原3) 齊藤正仁(三原3) 沓掛秀樹(伊丹藤村卓司(小野2) 安田憲弘(弘陵1)

五大都市体育大会サッカー派遣選手団 【監督】岡本隆英 【主務】岡本勲(三菱神戸) 【審判】村上恒男(灘高) 【主将】八木重光 【選手】福山嘉夫、八木重光、山本伸吾、水野修、本倉伸二、山名幸男、桜木浩二、林啓太(以上兵庫教員) 松岡泰典、前田正司、久保正夫(以上三菱神戸) 西田正雄(大日電線) 湊邦正、山田勝則(大阪ガス) 浜田浩二(神崎高級工機) 北川雅史(双和クラブ)

神戸市社会人運営会議予定 次回 7月19日(休)

8月23日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、1月17日、2月21日、3月14日、3月22日、いずれも18時30分から王子登山研究所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



第26回神戸市中学生選手権大会

第26回神戸市中学生選手権大会が4月29日から5月6日まで市内各地で行われ、地力に勝る神戸FCジュニアAが他チームを寄せつけず、4年連続5度目の優勝を果たした。

決勝(5月6日、六甲中) 神戸FCジュニアA 2 { 1-0 } 1 鷹匠中

決勝戦は神戸FC・A対鷹匠中学の対戦となった。神戸FC・Aは一回戦から相手校を全く寄せつけず順当に勝ち進んだ。一方鷹匠中は毎試合苦しみながらも勝ち残った。

神戸FCはCF藤田を中心とした得点力のあるFW陣と清原らのうまさ組織力のあるDF陣がうまくかみ合ってチーム全体としてすきのないサッカーをやったのけた。

鷹匠中は大型CF宮崎の強引な突破とシュートで決勝戦まで進むことができた。

決勝は前半20分神戸FC藤田が先取点を上げ、終盤優勢に試合を進め、後半にも16分にFKを藤田が直接強烈にけり込んで追加点を上げた。しかし、ねばる鷹匠中はその後奮起して1点を返したが、決め手を欠き同点までは持ち込めなかった。

4年連続5度目の優勝を果たした神戸FCは余裕を持って本大会を制した。久しぶりに準優勝を飾った鷹匠中も名門復活を思わせ今後へ期待を寄せるチームである。

(市中学委員長 市川雄一)



藤田(神戸FC)全日本ジュニア代表に

神戸FCジュニアAのエース藤田善浩は、今大会でも大活躍で優勝に大きく貢献したが、このほど、全日本ジュニア・ユース代表に選ばれた。これは、1985年中国で開催されるワールド・ジュニア選手権大会のアジア地区予選(本年8月12日~28日、タイ・バンコック)に出場する日本代表に選ばれたもの。本大会に出場できるよう頑張ってもらいたい。(カ)



1984 5月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

神戸FCジュニアA 4年連続5度目のV



優勝を決め笑顔を見せる神戸FC・A

第26回神戸市中学生サッカー選手権大会結果

東神戸朝鮮	1	0	塩本	0	屋
湊高	1	0	KFC(A)	0	庄
鷹匠	4	0	友が	0	丘
影山	0	0	友が	0	山
和山	0	0	西神戸朝鮮	0	甲
布引	3	0	六電	0	台
西合	0	0	丸	0	水
KFC(B)	1	0	垂	0	山
有太	1	0	丸	0	灘
広田	0	0	西垂	0	代
王塚	0	0	松福	0	東
港島	0	0	上	0	丘
津島	0	0	魚	0	田
千歳クラブ	0	0	滝	0	野
鈴蘭	0	0	須	0	崎
山田	0	0	佐	0	川

神戸市サッカー協会総会開かれる

神戸市協会昭和59年度総会が5月18日、三木記念神戸市立スポーツ会館大会議室にて開かれた。

本年は役員改選の年でなく

- 1号議案 昭和58年度事業報告
- 2号議案 昭和58年度会計決算報告
- 3号議案 昭和59年度事業計画(案)
- 4号議案 昭和59年度会計予算(案)

が順次審議され、それぞれ可決承認された。なお、市協会技術委員長岡本隆英氏が4月からユニバーシアード神戸大会組織委員会事務局に移動し、サッカー競技の準備などで多忙をきわめるため、その代理を山根由雄氏(北須磨高)にすることを決定した。

また、少年委員長の桜井研二氏が家庭の都合にて辞任され、代って伊窪吉和氏が少年委員長に就任されることになり、常任理事も交代することが承認された。

本年度の事業計画のうち主なものは以下の通り。

- I) 協会主催の大会及びリーグ戦
- ▷第1種(社会人)

第26回市民大会(4~5月)・リーグ戦(参加98チーム、4~12月)・総合体育大会(9区対抗、8~10月)・リーグ選手権大会(1~3月)

▷第2種(高校生年令) 市総合体育大会(10月)・市高校リーグ(3月)

▷第3種(中学生年令) 第26回市民大会(4~5月)・県選手権大会(10月)

▷第4種(小学生年令) 少年リーグ(1部~5部、4~12月)・第8回全日本少年大会市予選(5月)・第6回神戸兵庫ライオンズ杯(8~10月)・第1回市少年大会(1月)

II) 第4回ミニサッカー大会(8月)

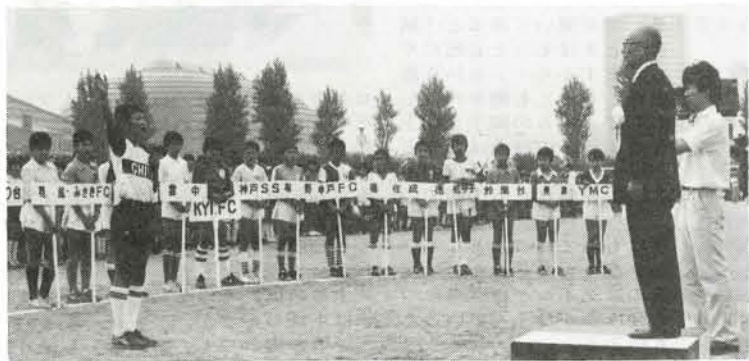
III) 選手の強化・指導

IV) 講習会・研修会 少年サッカー指導者講習会・4級審判養成講習会・3、4級審判研修会・少年、中学補助審判講習会

V) 月刊「神戸のサッカー」発行

VI) 会議

59年度市少年リーグ開幕!



千歳A 2年連続優勝なるか?

昭和59年度神戸市少年リーグは、4月29日に開幕された。このリーグは神戸の少年サッカーの中核となるもので、市内を4地区に分け、8月末までにその地区ごとに前期リーグを行い、9月から2月にかけて前期の結果にもとづいて後期リーグが行われる。また、このリーグは男女別、学年別に5部門に分かれており、それぞれ部門毎に優勝が争われる。

本年度の参加チーム数は約170チーム、選手約3,100人がクラブの栄光をなす1年間の長期リーグを戦っていく。

男子1部(小6以下上級クラス)では、中地区の千歳A、西地区の多井畑A、東地区の神戸FC・Aが優勝候補に上げられる。また4部(小6以下女子)では高倉台A(西地区)ひより台A(中地区)木津A(北地区)福住A(東地区)の各チームが上位争いをすると予想される。

とはいえ、各チームとも子供たちの身体的発育、試合経験、父兄の協力、指導者の情熱

によってプレーぶりも大きく変わってくるので予想はむずかしく、2月下旬の最終結果が非常に楽しみである。

盛大に開会式

市少年リーグ開会式が6月2日、ポートアイランド球技場で行われた。今年のリーグに参加するのは新加入の泉台、神戸ユース・インターナショナル(カナディアン・アカデミー:在日外国人の子供たち)の2クラブを含めて36クラブで、この日集まったのは、選手約2,500人、父兄約200人。昨年度1部優勝の千歳Aのキャプテン平井勇君を中心に各クラブのキャプテンが集まり、河本春男市協会会長を前に1年間の決意をあらたにして宣誓をした。

式終了後は兵庫県警察音楽隊のドリル演奏を楽しみ、選手は1年間の活躍を心にひめて帰路についた。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区赤坂通7丁目5-14 ☎078(861)8143
(861)4146

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

第26回神戸市民大会 社会人の部

第26回神戸市民大会社会人の部は3月25日から神戸中央サブグラウンドを中心に行われ5月6日、神戸中央球技場のメインでビートルズFC・A対マックエルフの間で行われ、4-2でビートルズFC・Aが勝って初優勝を果たした。

ビートルズFCは最近めきめき力をつけ、59年度からは高校生を中心としたBチームも協会に登録し、独自のクラブの機関誌を出すほど熱心なクラブ。チーム・ワークの初優勝だった。



チームワークで勝利を勝ちとったビートルズFC

ビートルズFC・A チーム一丸でうれしい初勝利

▶決勝(5月6日、神戸中央球技場メイン) 神戸ビートルズFC・A 4-2 マックエルフ

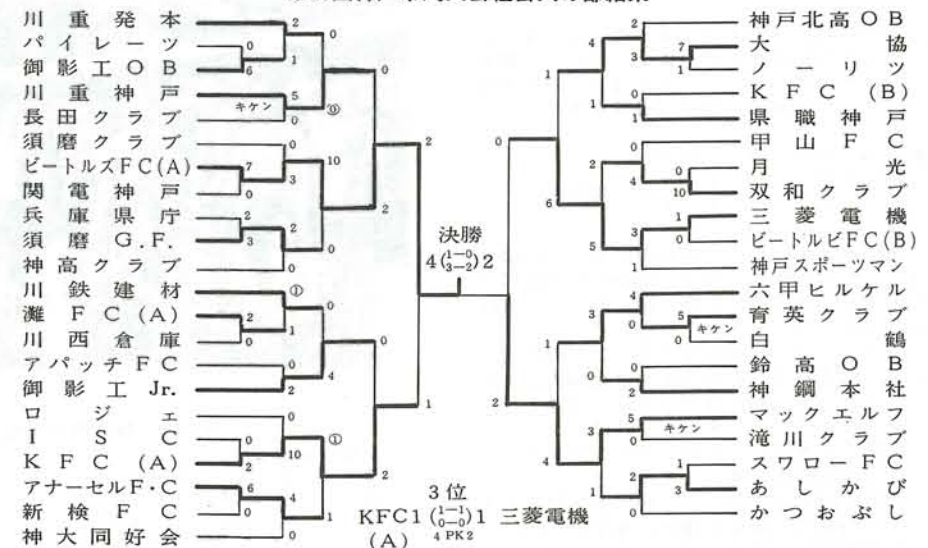
決勝戦は、安定した試合運びで勝ち上がったビートルズFC・Aと3部ながら1、2部の強豪チームを退けてきたマックエルフとの間で行われた。

立ち上がりこそ、お互いに決勝戦ということ意識して動きが硬かったものの、ビートルズの中尾の先取点を契機に徐々に硬さもとれ、点の取り合いとなった。マックエルフは常に先手を取られながらも、持ち前の粘りで2対2まで追いついたが、集中力の切れたところで、ビートルズのLW田淵に決定的な3、4点目を奪われ、ビートルズが念願の初優勝を手中に収めた。

3位決定戦では、神戸FCシニアAが1対1の引分けの後、三菱電機に4対2のPK勝ちを収めた。

今大会は、優勝候補であった双和クラブやアーセナルFCが敗れたものの、ベスト8には順当に強豪チームが勝ち上がった。これら強豪の中に混じりながら決勝に駒を進めた3部のマックエルフ、走るサッカーをして健闘した三菱電機、御影工ジュニアの活躍が

第26回神戸市民大会社会人の部結果



目についた。全体的にみて、攻守の切り換えの遅い遅いレベルの差が見られ、大きく点差のついた

試合があった。今後とも各チームの一層の精進によって、大会が盛り上っていくよう期待されている。

58年度 春季 高校リーグ赤塚山と六甲が優勝

58年度市高校春季リーグ戦は、3月20日から31日まで市内各高校で行われ、1部A、Bブロックでそれぞれ赤塚山と六甲が優勝した。赤塚山は4回連続、六甲は初の優勝である。

今回のリーグ戦においても、全体としてのレベルは向上しているものの、ずば抜けたチームがなく、1部から3部まで実力伯仲のリーグ戦となった。このため、リーグ戦に引き

続き、4月15、22日に行われた入替戦でも、1、2部へ各2校ずつが昇格する結果となった。リーグ戦の戦績は以下の通り。

- 【1部Aブロック】①赤塚山2勝1分2北須磨2勝1分③長田1勝2敗④兵庫3敗
- 【1部Bブロック】①六甲2勝1敗②神戸2勝1敗③神戸甲北1勝2敗④御影1勝2敗
- 【2部Aブロック】①星陵2勝1分②須磨2勝1分③市神工1勝2敗④滝川3敗
- 【2部Bブロック】①御影3勝②神戸FC1勝1分1敗③育英1勝1分1敗④東灘3敗

- 【3部Aブロック】①八代2勝1分②鈴蘭台2勝1敗③鈴蘭台西1勝1分1敗④神戸高専3敗
- 【3部Bブロック】①灘2勝1分1敗②村野工2勝1分1敗③神戸西1勝3分④兵庫商1勝2分1敗⑤須磨友が丘1分3敗
- 【3部Cブロック】①須磨東2勝1分②兵庫工1勝1敗③夢野台1勝2敗④伊川谷1勝2敗
- 【3部Dブロック】①葦合2勝2分②舞子2勝2分③私神港1勝2分1敗④神戸弘陵2分2敗⑤神戸北2分2敗
- 【1・2部入替戦】長田0-0須磨、兵庫1-2星陵、神戸甲北2-1神戸FC、御影0-1御影工
- この結果、星陵と御影工が1部昇格
- 【2・3部入替戦】市神工1-3須磨東、滝川0-4八代、育英3-2葦合、東灘2-0灘
- この結果、須磨東と八代が2部昇格

第9回神戸市社会人リーグ選手権大会結果(2月5日~4月1日)



株式会社 モルテン
広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

サッカー 教え方 学び方

(25)

協力 毎日新聞社



岩谷 俊夫

「大会があつた何日に迫りました。一度見に来てほしい」

高校チームから、よくこんな電話がかかってくる。実力下校分は協会の仕事でもあるので喜んで出かける。実際にはそのコーチが、ある一つの計画で進めているから、その線からはずれないことがポイントになる。へんに深い欠点には触れず、勝負に直結する長所、特性を見つけて元気づける。方々の高校を見てまわっているのだから比較ぐらいはできる。この程度で点が決まるかどうか、防げるかどうかは判断がつく。

試合前は大体どのチームもフォーメーション・プレーに重点を置いている。実戦を想定して、ポジショニングのイメージを与えているわけだ。とくに攻めの型を整える。守りは追いつ込み方の方向を互い

にのみこみあう。つまりカバーのしかたである。まず最初はグラウンド半分を横に使い5対5の試合をする。一方のチームは右半分。一方は左半分で組む。(RB、RH、CH、OR、LR)対(LB、LH、OL、IL、CF)に分ける。CFは右か左か攻撃の強いサイドに、CHは守備の弱い側に

つけて、CFとCHは分ける。できれば一方はノーストップ・パスの速攻派、一方はドリブル主体のキーピング・グループとしてタマを取られないことに重点を置く。何分かやれば戦法を交代する。このときのもう一つの重点は、取ったらすぐ攻めること、取られたらゴールを守る収縮の早さである。

こんどはグラウンド全部を使い、OBチームなどを相手にして試合する。その前にポジションのイメージを与えるため、FW5人、HB2人の組み合わせで、ノー・バックにしてシュートまで運ぶなり、3人程度の守備陣(CH、RB、LB)を入れてシュートまでやる。大体試合用のパスの練習はこんな程度でよい。ところが高校で見つけた2つばかりの欠点をひらいてみよう。

第一に多いのが攻守の切り替えの全くないやり方である。FWは攻めるだけのもの、バックは守るだけのものとしてはじめから分けている。バックはクリアー

したおしまい。FWはい型で攻めかけたときはシュートまで一生懸命やるが、途中でちょっとパスが乱れ、カットされたらおしまい、というやり方である。つまりFWはいつも全くフリーでパスを開始し、逆境からボールを受けに戻ったり、FW守備など頭からない。この練習だけで試合の準備なれりとして、強い相手には面くらうばかりではあるまいか。

第二は、その問題をさておいても「いいカッコ」ばかりにとらわれたフォーメーション練習の多いことである。いい型になったときは最後のシュートまで持っていこうとするが、ひとたびパスが乱れたり、バックがゴール前を囲んでしまえば、それは調子が悪かったとしてシュートをやめてしまう傾向がある。30分くらいやっていてシュート1本というときもある。型が悪いから点にならない。セン

セタ方がより近道ではないだろうか。われわれはそう教えられ、またそんな道を歩んできた。ゴール前へつめてから急にシュートを思い立ったり、シュートのことも念頭に思わず、わけもわからず型にとらわれてパスするのは、やっていて興味は半減しそうだ。

いつの場合でも、あれは型が悪いからシュートできなかったのではなく、シュートの技術に幅がないからシュートできなかったのだと考えることにしよう。極端な例をあげてみよう。1対1のせりあひでは相手

を絶対抜けない11人が、たとえパスに何百時間を費やしても、それが実戦でどこまで持ちこたえられるか。極端に弱い相手のときはいい。しかしおおむね、きょうの相手は強すぎた、パスの調子が合わなかったという結論になりはしないか。サッカーはチーム・スポーツだから、確かに協調のプレーが優先する。だが自主的な、独立したプレーがなくていかに協調しようとしても、それは次元の低いものである。もちろん一つの協調を高めて個人プレーの幅をのぼすのも手段である。だがこれとでも、そのものかと生徒自信に逆算さ



人プレーが必要だということ、チーム・プレーを軸にして個人にたつきこむ一つの手段にすぎない。

日本がユース大会に出場すると、見せかけの構力だけではいつも外国を上回る。それは小さいころから繰り返して練習してきたからであろうか。試合の型になる個人の動きだけを強制的にしこまれた恐ろしい習慣ではなからうか。

日本チームは、まず正しい基礎プレーを外国との激しいせり合いの中で身につけて、そうしてで上がった個性の強いプレー、たとえば杉山や釜本や小城の特長を生かすよう構成をつぎとぎと発展させてきた。

チーム・スポーツであっても、個人の特性を犠牲にするのは「主客転倒」である。

本稿は、毎日新聞社の協力を得て、連載しております。

明日の栄光を勝ちとれ!

markam

サッカーの基本プレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ「マークカムシリーズ」

80年代をリードするサッカーウェア

younger

マークカム33
標準小売価格 ¥8,000



MONTBLANC リアル・スポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡